

# ZENworks 11 SP4 システム更新 (11.4.2) Readme

2016年5月

Novell.

この Readme は、ZENworks 11 SP4 用の 11.4.2 システム更新に関する情報を提供します。

- ◆ 1 ページのセクション 1 「ZENworks 11.4.2 に更新する重要な理由」
- ◆ 2 ページのセクション 2 「バージョンの 11.4.2 の展開の計画」
- ◆ 3 ページのセクション 3 「バージョン 11.4.2 のダウンロードと展開」
- ◆ 4 ページのセクション 4 「バージョン 11.4.2 で解決された問題」
- ◆ 4 ページのセクション 5 「ZENworks 11.4.2 で引き続き存在する問題」
- ◆ 4 ページのセクション 6 「バージョン 11.4.2 での既知の問題」
- ◆ 12 ページのセクション 7 「保証と著作権」

## 1 ZENworks 11.4.2 に更新する重要な理由

旧リリースで確認された重要な問題のうち、このリリースで解決されたものは次のとおりです。

- ◆ FDE ライセンスが期限切れの場合、管理対象デバイスへのログインに時間がかかる問題に対処しました。
- ◆ Windows デバイスで、ZEUS サービスが起動しない原因になっている JRE の問題に対処しました。
- ◆ ZENworks プライマリサーバおよび認証サテライトサーバにおける XPath インジェクションセキュリティ脆弱性に対処しました。
- ◆ 一部の Linux プライマリサーバにおいて Web サービス経由で SUSE サブスクリプションを作成できない問題に対処しました。
- ◆ ゾーン認証局が従属 CA に設定されている場合、11.4.1 にアップグレードすると、認証サテライトサーバで `zac iac` コマンドを使用して証明書を追加できない問題に対処しました。
- ◆ ユーザがログアウトした後、ログインユーザ情報が ZCC から消去されない問題に対処しました。
- ◆ Patch Management で 5 つの新しいレポートが利用できるようになりました。DAU Status (DAU の状態)、Device Status (デバイスの状態)、Overall Patch Percentage (全体的なパッチの割合)、Patch Percentage by Folder (フォルダ別のパッチの割合)、および Unpatched Patches by Device (デバイス別の未適用のパッチ) です。
- ◆ パッチポリシーのパッチの容量が大きいと、サーバの応答時間が遅くなる問題に対処しました。
- ◆ パッチの脆弱性検出時にクライアントからの応答時間が遅い問題に対処しました。
- ◆ 古いパッチバンドルがディスク容量を過剰に使用する問題に対処しました。

新しくサポートされたプラットフォーム、およびその他の強化点については、『ZENworks 11 SP4 新機能リファレンス』ガイドの「What's New in 11.4.2」を参照してください。

## 2 バージョンの 11.4.2 の展開の計画

管理ゾーン内での ZENworks 11.4.2 の展開を計画するには、次のガイドラインを使用します。

- ZENworks 11.4.2 にアップグレードする前に、ZENworks 11 SP4 サーバに前提条件となる更新「11 SP4 以降に更新するための前提条件」を適用します。ただし、サーバがすでに ZENworks 11.4.1 バージョンにアップグレード済みの場合は、この前提条件となる更新を適用する必要はありません。
- OPAL ドライブでネイティブのハードウェア暗号化モードで(ソフトウェア暗号化を適用せずに) Full Disk Encryption を使用している場合、管理対象デバイスを ZENworks 11.4.2 に更新する前に、デバイスからディスク暗号化ポリシーを削除する必要があります。  
OPAL ドライブでソフトウェア暗号化を使用している場合 ( ポリシーの *Enable software encryption of OPAL compliant self-encrypting drives (OPAL 準拠自己暗号化ドライブのソフトウェア暗号化を有効にする)* 設定 ) を使用している場合は、管理対象デバイスを更新する前にポリシーを削除する必要はありません。
- ZENworks 11.4.2 へのアップグレードが完了すると、システムは再起動します。この再起動は Windows デバイスのみが対象です。ただし、次の場面では再起動が 2 回必要になります。

表 1 再起動が 2 回必要な場面

場面	ZENworks Endpoint Security	Full Disk Encryption	ロケーションサービ ス	クライアントセルフ ディフェンス
10.3.4 以上から 11.4.2 へのアップグレード	無効	無効	ライト	有効
11.4.2 の新規インストール	無効	無効	ライト/フル	有効

**重要:** 最初に、10.3.4 より前のバージョンが実行されている管理対象デバイスを ZENworks 10.3.4 以上のバージョンにアップグレードする必要があります。システムは ZENworks 10.3.4 へのアップグレード後に再起動し、11.4.2 の更新の展開後にもう一度再起動します。

表 2 11.4.2 への ZENworks 累積エージェントアップデート: サポートされるパス

管理対象デバイスのタイプ	オペレーティングシステム	サポートされるバージョン	サポートされないバージョン
プライマリサーバ	Windows/Linux	v11.4.x	v11.4.x より前の任意のバージョン
サテライトサーバ	Windows/Linux/Mac	v10.3.4 以上のバージョン	v10.3.4 より前の任意のバージョン
管理対象デバイス	Windows	v10.3.4 以上のバージョン	v10.3.4 より前の任意のバージョン
	Linux	v11.0 以上のバージョン	NA
	Mac	v11.2 以上のバージョン	NA

- ◆ システム更新をインストールする前に、次の場所に十分な空きディスク容量があることを確認してください。

場所	説明	ディスク容量
<b>Windows:</b> %zenworks_home%\install\downloads <b>Linux:</b> opt/novell/zenworks/install/downloads	エージェントのパッケージを維持するため	4GB
<b>Windows:</b> %zenworks_home%\work\content-repo <b>Linux:</b> /var/opt/novell/zenworks/content-repo	zip ファイルをコンテンツシステムにインポートするため	4GB
エージェントキャッシュ	ZENworks サーバを更新するために必要な、該当するシステム更新コンテンツをダウンロードするため	1.5GB
システム更新ファイルがコピーされる場所これは、システム更新 zip ファイルをインポートするために使用される ZENworks サーバにのみ適用されます。	ダウンロードしたシステム更新 zip ファイルを保存するため	4GB

- ◆ 最初にプライマリサーバ、次にサテライトサーバ、最後に管理対象デバイスという順番でバージョン 11.4.2 を展開する必要があります。ゾーン内のすべてのプライマリサーバが 11.4.2 にアップグレードされるまで、管理対象デバイスおよびサテライトサーバにこの更新を展開しないでください (または、新しい 11.4.2 エージェントをゾーンに展開しないでください)。

**注:** プライマリサーバをアップグレードする前にエージェントが ZENworks サーバとの通信を開始した場合、エージェントは整合性のないデータを受け取り、これがゾーンに影響を及ぼすおそれがあります。したがって、プライマリサーバは短時間でアップグレードする必要があります。互いに数分以内にアップグレードするのが理想的です。

- ◆ Update For ZENworks 11 SP4 (11.4.2) は ZENworks 11.4.1 に代わるものです。
- ◆ ZENworks 10.3.4 以上のバージョンがインストールされているサテライトサーバおよび管理対象デバイスには、ZENworks 11.4.2 を直接展開できます。

### 3 バージョン 11.4.2 のダウンロードと展開

バージョン 11.4.2 をダウンロードして更新として展開する方法については、『ZENworks 11 SP4 システム更新リファレンス』を参照してください。

管理ゾーンが ZENworks 11 SP4 より前のバージョンのプライマリサーバで構成されている場合、これらのプライマリサーバをすべて ZENworks 11 SP4 にアップグレードして「11 SP4 以降に更新するための前提条件」を適用しない限り、それらのプライマリサーバに ZENworks 11.4.2 を展開することはできません。手順については、『ZENworks 11 SP4 アップグレードガイド』を参照してください。

**注:** プライマリサーバにすでに ZENworks 11.4.1 バージョンが展開済みの場合、プライマリサーバに ZENworks 11.4.2 を展開するために、前提条件となる更新を適用する必要はありません。

11 SP4 以降に更新するための前提条件の詳細については、「Post ZENworks 11 SP4 Update Prerequisites ([https://www.novell.com/documentation/zenworks114/readme\\_post\\_114\\_prereq/data/readme\\_post\\_114\\_prereq.html](https://www.novell.com/documentation/zenworks114/readme_post_114_prereq/data/readme_post_114_prereq.html))」を参照してください。

管理タスクについては、[Novell ZENworks マニュアルの Web サイト \(https://www.novell.com/documentation/zenworks114/\)](https://www.novell.com/documentation/zenworks114/) を参照してください。

---

**重要：**ゾーン内のすべての結合プロキシサテライトサーバが更新されるまで、Remote Management (RM) Viewer を更新しないでください。結合プロキシ経由で Remote Management を実行するには、RM Viewer のバージョンと結合プロキシのバージョンが同じであることを確認してください。

---

11.4.2 アップデートをダウンロードして展開する前に、必ず [2 ページのセクション 2 「バージョンの 11.4.2 の展開の計画」](#) を読んでください。

**ゾーン内のすべてのプライマリサーバが ZENworks 11 SP4 にアップグレードされるまで、ZENworks 11.4.2 を展開しない**

この更新では、データベースのスキーマを変更する必要があります。最初のパッチのインストール時には 1 つのプライマリサーバのみでサービスを実行し、他のプライマリサーバがデータベース内の変更中のテーブルにアクセスしないようにしてください。

マスタまたは専用のプライマリサーバが更新されたら、残りのサーバでサービスを開始して更新を同時に適用できます。

11.4.2 で管理ゾーン内でサポートされる管理対象デバイスおよびサテライトサーバのバージョンのリストについては、「[Managed Device and Satellite Version Support Matrix](#)」を参照してください。

## 4 バージョン 11.4.2 で解決された問題

このリリースでは、ZENworks 11 SP4 の初期リリースで特定された問題がいくつか解決されています。解決された問題のリストについては、[Novell サポートナレッジベースの TID 7017469](#) を参照してください。

## 5 ZENworks 11.4.2 で引き続き存在する問題

ZENworks 11 SP4 の旧バージョンで明らかになった問題のうち、一部は依然として解決されていません。詳細については、次の [Readme ドキュメント](#) を参照してください。

- ◆ [ZENworks 11 SP4 Readme](#)
- ◆ [ZENworks 11 SP4 システム更新 \(11.4.1\) Readme](#)

## 6 バージョン 11.4.2 での既知の問題

- ◆ [4 ページのセクション 6.1 「インストールとアンインストール」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 6.2 「アップグレード」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 6.3 「運営上」](#)

### 6.1 インストールとアンインストール

- ◆ [5 ページのセクション 6.1.1 「ゾーンに新しく追加されたプライマリサーバに初めて ZENworks 11.4.x を割り当てると、エラーメッセージが表示される」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 6.1.2 「Linux デバイス上の ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする際にフォルダの内容が削除されない」](#)

### 6.1.1 ゾーンに新しく追加されたプライマリサーバに初めて ZENworks 11.4.x を割り当てると、エラーメッセージが表示される

ゾーンに新しく追加されたプライマリサーバに初めて ZENworks 11.4.x を割り当てると、エラーメッセージが表示されます。

解決策：更新を再展開します。

### 6.1.2 Linux デバイス上の ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする際にフォルダの内容が削除されない

novell-zenworks-xplat-uninstall スクリプトを使用して Linux デバイス上の ZENworks Adaptive Agent をアンインストールする際に、`/var/opt/novell/zenworks` フォルダの内容が削除されません。

解決策：特定の Linux デバイスに ZENworks Adaptive Agent を再インストールする前に、`/var/opt/novell/zenworks` フォルダを手動で削除します。

## 6.2 アップグレード

- ◆ 5 ページのセクション 6.2.1「ZENworks の前提条件となる更新および ZENworks 11.4.x システム更新によってゾーンにベースラインが設定されている場合、新しく追加された ZENworks 11 SP4 プライマリサーバで ZENworks 11.4.x システム更新が失敗することがある」
- ◆ 6 ページのセクション 6.2.2「ZENworks を 11.4.2 に更新した後、Tuxera ドライバのアップロードに失敗することがある」
- ◆ 6 ページのセクション 6.2.3「SUSE 12 SP1 で ZENworks Adaptive Agent のページが空白で表示される」
- ◆ 6 ページのセクション 6.2.4「SLES 12 プライマリサーバの ZENworks をアップグレードすると、`pxemenu.txt` の変更内容が失われる」
- ◆ 7 ページのセクション 6.2.5「Macintosh デバイスで、システム更新の実行後、ZEN アイコンが表示されないことがある」
- ◆ 7 ページのセクション 6.2.6「プライマリサーバを ZENworks 11.4.2 にアップグレードした後、Linux および Mac IOA デバイスが更新されない」
- ◆ 7 ページのセクション 6.2.7「Windows プライマリサーバで、グローバル前処理アクションを起動できないため、システム更新が失敗することがある」

### 6.2.1 ZENworks の前提条件となる更新および ZENworks 11.4.x システム更新によってゾーンにベースラインが設定されている場合、新しく追加された ZENworks 11 SP4 プライマリサーバで ZENworks 11.4.x システム更新が失敗することがある

11.4 の前提条件となる更新および 11.4.x システム更新によってゾーンにベースラインが設定されている場合、ゾーンに 11.4 プライマリサーバをインストールすると、これらの更新は自動的に 11.4 プライマリサーバに割り当てられ、並行してインストールされます。11.4 の前提条件となる更新がまだ完了していないため、11.4.x システム更新が失敗することがあります。この場合、「The update failed because the pre-requisite update, (Post 11SP4 Update Prereq), failed to apply. Check the status of

that update for details. (前提条件となる更新 (11 SP4 以降に更新するための前提条件) を適用できなかったため、更新に失敗しました。詳細については、その更新の状態を確認してください。)」というエラーが発生します。

解決策: 11.4 の前提条件となる更新が完了するまで待ってから、新しく追加されたプライマリサーバに 11.4.x システム更新を再適用します。

## 6.2.2 ZENworks を 11.4.2 に更新した後、Tuxera ドライバのアップロードに失敗することがある

ZENWorks を 11.4.2 に更新して Tuxera ドライバをアップロードすると、次のエラーメッセージが表示されます。

Checksum of the uploaded Tuxera NTFS driver file does not match with the expected checksum in the NTFSDriver.conf file. (アップロードされた Tuxera NTFS ドライバファイルのチェックサムが NTFSDriver.conf ファイルの予期されたチェックサムに一致しません。)

解決策: ZCC からログアウトしてからログインし、Tuxera ドライバを再度アップロードします。

## 6.2.3 SUSE 12 SP1 で ZENworks Adaptive Agent のページが空白で表示される

オペレーティングシステムを SUSE 12 SP1 にアップグレードすると、ZENworks Adaptive Agent のページが空白で表示されます。

解決策:

オペレーティングシステムをアップグレードした後、次のアクションを実行します。

- 1 `systemctl stop novell-zenworks-xplatzmd.service` コマンドを実行して、エージェントサービスを停止します。
- 2 `/opt/novell/zenworks/zmd/java/lib/configuration` ディレクトリに移動し、次のフォルダを手動で削除します。
  - ◆ `org.eclipse.core.runtime`
  - ◆ `org.eclipse.osgi`
- 3 `systemctl start novell-zenworks-xplatzmd.service` コマンドを実行して、エージェントサービスを開始します。

## 6.2.4 SLES 12 プライマリサーバの ZENworks をアップグレードすると、pxemenu.txt の変更内容が失われる

プライマリサーバが SLES 12 デバイスの場合、ZENworks 11.4 の前提条件となる更新およびまたは 11.4.x にアップグレードすると、`pxemenu.txt` ファイルの変更内容が失われます。

`pxemenu.txt` ファイルは次の場所にあります。

- ◆ `\srv\tftp\pxemenu.txt`
- ◆ `\srv\tftp\efi\x86_64\pxemenu.txt`
- ◆ `\srv\tftp\efi\ia32\pxemenu.txt`

解決策: ZENworks をアップグレードする前に、`pxemenu.txt` ファイルをバックアップします。

## 6.2.5 Macintosh デバイスで、システム更新の実行後、ZEN アイコンが表示されないことがある

Macintosh デバイスでシステム更新を実行した後、システムトレイに ZEN アイコンが表示されないことがあります。

解決策：デバイスからログアウトしてログインします。

## 6.2.6 プライマリサーバを ZENworks 11.4.2 にアップグレードした後、Linux および Mac IOA デバイスが更新されない

プライマリサーバを ZENworks 11.4.2 にアップグレードした場合、Linux および Mac IOA デバイスで更新 (手動またはスケジュール) を実行するか、`zac su` コマンドを実行しても、IOA デバイスが 11.4.2 に更新されません。

解決策：ありません。詳細については、[Novell Support Knowledgebase](#) の TID 7017601 を参照してください。

## 6.2.7 Windows プライマリサーバで、グローバル前処理アクションを起動できないため、システム更新が失敗することがある

Windows プライマリサーバで 11.4.2 システム更新を実行中に、グローバル前処理アクションを実行できないことがあります。このため、システム更新が完了しません。

解決策：詳細については、[Novell Support Knowledgebase](#) の TID 7017603 を参照してください。

## 6.3 運営上

- ◆ 7 ページのセクション 6.3.1 「Configuration Management」
- ◆ 10 ページのセクション 6.3.2 「パッチ管理」
- ◆ 10 ページのセクション 6.3.3 「リモート管理」
- ◆ 11 ページのセクション 6.3.4 「イメージング」

### 6.3.1 Configuration Management

- ◆ 8 ページのセクション 6.3.1.1 「サブスクリプションのレプリケーションで子バンドルを処理できない」
- ◆ 8 ページのセクション 6.3.1.2 「共有コンテンツリポジトリで CheckContentSystem アクションが動作しないことがある」
- ◆ 8 ページのセクション 6.3.1.3 「Oracle データベースで ZCC ログイン資格情報の大文字と小文字が区別される」
- ◆ 8 ページのセクション 6.3.1.4 「再起動が含まれるバンドルのアンインストールアクションセットを実行すると、再起動完了後、再度アンインストールの許可を求めるプロンプトが表示される」
- ◆ 8 ページのセクション 6.3.1.5 「Firefox バージョン 40 以上でグループポリシーを編集できない」
- ◆ 9 ページのセクション 6.3.1.6 「Firefox 43 以上でグループポリシーヘルパー拡張機能が無効になる」

- ◆ 9 ページのセクション 6.3.1.7 「Zicon ツールヒントメッセージが真っ暗になる」
- ◆ 9 ページのセクション 6.3.1.8 「エージェントを認証サテライトサーバとして昇格させるときに、Zicon に状態が正しく表示されないことがある」

#### 6.3.1.1 サブスクリプションのレプリケーションで子バンドルを処理できない

マスタゾーンでシステム変数が設定されている親バンドルと子バンドルがある場合に、親バンドルのみを共有またはレプリケーションすると、マスタゾーンのレプリケーションの状態に未解決の問題が表示され、これが子バンドルの一部になります。

解決策：

次のいずれかを実行します。

- ◆ サブスクリプションを再作成する。
- ◆ マスタゾーンの親バンドルを変更し、サブスクリプションプロセスを再実行する。
- ◆ 子バンドルを親バンドルと共に選択して、サブスクリプションプロセスを再実行する。

#### 6.3.1.2 共有コンテンツリポジトリで CheckContentSystem アクションが動作しないことがある

ゾーン内の 2 つ以上のプライマリサーバに対して共有コンテンツリポジトリを追加してから、データベースとコンテンツリポジトリを同期するために CheckContentSystem 設定アクションを手動で実行すると、サーバでコンテンツが利用できなくなることがあります。

解決策：ありません。次回更新時にローダモジュールによってデータが同期されると、プライマリサーバは共有コンテンツリポジトリ内のコンテンツにアクセスできるようになります。

#### 6.3.1.3 Oracle データベースで ZCC ログイン資格情報の大文字と小文字が区別される

Oracle データベースを使用している場合、ZENworks コントロールセンター (ZCC) のログイン資格情報で大文字と小文字が区別されます。たとえば、[username (ユーザ名)] フィールドに、「Administrator」ではなく「administrator」と入力すると、ログインに失敗します。

解決策：searchconfig.xml ファイルで、CaseInsensitiveAdminSearch パラメータの値を false から true に変更します。このファイルには、次の場所からアクセスできます。

**Windows:** %ZENWORKS\_HOME%\conf\datamodel\search

**Linux:** /etc/opt/novell/zenworks/datamodel/search/

#### 6.3.1.4 再起動が含まれるバンドルのアンインストールアクションセットを実行すると、再起動完了後、再度アンインストールの許可を求めるプロンプトが表示される

バンドルに対して、再起動アクションが含まれるアンインストールアクションセットを実行すると、再起動完了後、再度、バンドルをアンインストールするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

解決策：ありません。**Yes (はい)** をクリックして、バンドルのアンインストールを確認します。

#### 6.3.1.5 Firefox バージョン 40 以上でグループポリシーを編集できない

Firefox バージョン 40 以上の Web ブラウザでグループポリシーを編集できません。

解決策：Firefox のインスタンスを閉じてから、Internet Explorer を使用してポリシーを編集します。



### 6.3.1.6 Firefox 43 以上でグループポリシーヘルパー拡張機能が無効になる

Firefox 43 以上にグループポリシーヘルパー拡張機能をインストールすると、ヘルパー拡張機能が無効化状態になります。

解決策：

グループポリシーヘルパー拡張機能を有効にするには、次の手順に従います。

- 1 アドレスバーに「**about:config**」と入力します。

次のメッセージが表示されます。

Changing these advanced settings can be harmful to the stability, security and performance of this application. You should only continue if you are sure of what you are doing. (これらの高度な設定を変更すると、このアプリケーションの安定性、セキュリティ、およびパフォーマンスに問題が発生する可能性があります。実行する操作の内容を理解している場合にのみ続行してください。)

- 2 理解して実行するをクリックします。
- 3 [検索] フィールドに「**xpinstall.signatures.required**」と入力し、設定名をダブルクリックして、値を **false** に設定します。
- 4 ブラウザを再起動します。

### 6.3.1.7 Zicon ツールヒントメッセージが真っ暗になる

バンドルを SLES 12 または SLED 12 デバイスに割り当てた場合、デバイスに Zicon が表示されていても、ツールヒントメッセージが真っ暗になります。この問題はサードパーティの Eclipse SWT パッケージに関連します。

解決策：ありません。

### 6.3.1.8 エージェントを認証サテライトサーバとして昇格させるときに、Zicon に状態が正しく表示されないことがある

エージェントを認証サテライトサーバとして昇格させる際に、Zicon に状態が正しく表示されないことがあります。たとえば、有効になっているにもかかわらず、**Disabled (無効)** と表示されることがあります。

解決策：エージェントを更新します。

## 6.3.2 パッチ管理

- ◆ 10 ページのセクション 6.3.2.1「システム更新前にパッチポリシーのサンドボックスバージョンが存在する場合、システム更新後、パッチポリシーのパフォーマンス向上がサンドボックスバージョンでのみ有効になり、公開バージョンで有効にならない」

### 6.3.2.1 システム更新前にパッチポリシーのサンドボックスバージョンが存在する場合、システム更新後、パッチポリシーのパフォーマンス向上がサンドボックスバージョンでのみ有効になり、公開バージョンで有効にならない

パッチポリシーの機能強化の一部として、パッチポリシーは事前に計算され、その結果は圧縮されてデータベースに保存されます。11.4.2 システム更新の前にパッチポリシーのサンドボックスバージョンが存在する場合、システム更新後、パッチポリシーが計算され、その結果は圧縮されてデータベースに保存されますが、これはサンドボックスバージョンのみが対象で、公開バージョンは対象ではありません。

解決策：11.4.2 プライマリサーバで、公開バージョンのパッチポリシーバンドル GUID を指定して `zman bac` コマンドを実行し、計算を許可します。パッチポリシーバンドル GUID は ZCC から取得できます。パッチポリシーが後で公開される場合、この手順を繰り返す必要はありません。

## 6.3.3 リモート管理

- ◆ 10 ページのセクション 6.3.3.1「11.3.x 管理対象デバイスでリモート管理操作を実行すると、通信エラーが表示される」
- ◆ 10 ページのセクション 6.3.3.2「Windows 8 で、リモート管理中に、[Suppress Desktop Wallpaper ( デスクトップの壁紙の抑制 )] 機能が動作しないことがある」
- ◆ 11 ページのセクション 6.3.3.3「64 ビット版 Firefox 43 以上 (ESR を含む) のブラウザで、ZENworks File Upload および Remote Management Viewer プラグインがサポートされない」
- ◆ 11 ページのセクション 6.3.3.4「ZENworks GPO で設定されているデスクトップの壁紙が Windows 7 管理対象デバイスに適用されない」

### 6.3.3.1 11.3.x 管理対象デバイスでリモート管理操作を実行すると、通信エラーが表示される

11.3.x 管理対象デバイスでリモート管理操作を実行すると、**Communication error: some other applications are running on the specific port (通信エラー: この特定のポートで他の何らかのアプリケーションが実行されています)** というエラーが表示されることがあります。このエラーは、リモート制御セッションでユーザ切り替え操作を実行するときに、`nzrWinVNC.exe` プロセスがダウンしているか、同じ名前の複数のプロセスが実行されている場合に発生します。

解決策：管理対象デバイスで **Novell ZENworks Remote Management** サービスを再起動します。

---

注：この問題は、エージェントのバージョンを 11.4 以上にアップグレードすると解決します。

---

### 6.3.3.2 Windows 8 で、リモート管理中に、[Suppress Desktop Wallpaper ( デスクトップの壁紙の抑制 )] 機能が動作しないことがある

[デスクトップの壁紙] が設定されているグループポリシーがデバイスに割り当てられている場合、Windows 8 以上のプラットフォームでは、リモート管理操作の [Suppress Desktop Wallpaper ( デスクトップの壁紙の抑制 )] 設定が機能しません。

解決策：ありません (これは Microsoft Windows の制限です)。

### 6.3.3.3 64 ビット版 Firefox 43 以上 (ESR を含む) のブラウザで、ZENworks File Upload および Remote Management Viewer プラグインがサポートされない

64 ビット版 Firefox 43 以上 (ESR を含む) のブラウザでは、ZENworks File Upload および Remote Management Viewer プラグインがブラウザにインストールされていても、アドオンページで利用できません。

解決策：ありません。64 ビット版ブラウザの代わりに 32 ビット版のブラウザを使用することをお勧めします。

### 6.3.3.4 ZENworks GPO で設定されているデスクトップの壁紙が Windows 7 管理対象デバイスに適用されない

デスクトップの壁紙が有効になっている ZENworks グループポリシーオブジェクト (GPO) を設定し、Windows 7 管理対象デバイスに割り当てた場合、壁紙が適用されません。

解決策：次の方法で、**Suppress Wallpaper (壁紙の抑制)** オプションをオフにします。

- ◆ ZENworks コントロールセンターで、**Configuration (設定) > Device Management (デバイス管理) > Remote Management (リモート管理) > Performance Settings During Remote Session (リモートセッション時のパフォーマンス設定)** の順に移動し、**Suppress Wallpaper (壁紙の抑制)** チェックボックスをオフにします。

## 6.3.4 イメージング

- ◆ 11 ページのセクション 6.3.4.1「SLES 10 SP3 および SP4 上のイメージングサテライトサーバが ZENworks 11.4.2 プライマリサーバと通信できない」
- ◆ 11 ページのセクション 6.3.4.2「Windows 10 デバイスでイメージの復元を実行してデバイスを再起動した場合、Windows のいくつかの機能が動作しないことがある」
- ◆ 12 ページのセクション 6.3.4.3「デバイスを、イメージング役割を含む複数の役割を持つサテライトサーバに昇格させようとすると、昇格に失敗することがある」

### 6.3.4.1 SLES 10 SP3 および SP4 上のイメージングサテライトサーバが ZENworks 11.4.2 プライマリサーバと通信できない

SLES 10 SP3 または SP4 サーバの OpenSSL がデフォルトバージョンの場合、11.4.2 プライマリサーバとの通信が切断されます。

解決策：ありません。詳細については、[Novell Support Knowledgebase](#) の TID 7017532 を参照してください。

### 6.3.4.2 Windows 10 デバイスでイメージの復元を実行してデバイスを再起動した場合、Windows のいくつかの機能が動作しないことがある

Windows 10 デバイス (ZENworks エージェントなし) で、Sysprep を実行せずにイメージを復元してデバイスを再起動した場合、Windows の [スタート] メニューや他の Windows の機能 (Cortana や Metro アプリケーションなど) が動作しないことがあります。

---

注：Sysprep を使用せずにイメージを取得する場合は、『ZENworks 11 SP4 Preboot Services および イメージングリファレンス』の「Prerequisites for taking an Image on Windows 10 without Sysprep」の項を参照してください。

---

解決策：ありません。

### 6.3.4.3 デバイスを、イメージング役割を含む複数の役割を持つサテライトサーバに昇格させようとする、昇格に失敗することがある

デバイスを、イメージング役割を含む複数の役割を持つサテライトサーバに昇格させるときに、昇格に失敗することがあります。これは、イメージング役割パッケージのインストールが、結合プロキシまたは認証役割パッケージのインストールと同期されないことが原因です。

解決策：イメージング役割を個別に昇格させます。他の役割と組み合わせて昇格させないでください。

## 7 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

**Copyright © 2016 Novell, Inc. All Rights Reserved.**